

研究課題名	ガラクトース欠損 IgG がリウマチ性疾患の病態形成に与える影響の解明
研究の意義・目的	<p>免疫グロブリン G (IgG) は免疫の重要な一要素であり、リウマチ性疾患の病態に関与している重要な因子と考えられています。その中でも通常の IgG の糖鎖構造にガラクトースが欠損している状態の、ガラクトース欠損 IgG は関節リウマチや炎症性腸疾患において、疾患活動性や慢性炎症を反映するバイオマーカーになり得るとの報告があります。しかし、このガラクトース欠損 IgG の役割について、多くのリウマチ性疾患では十分に解明されていません。本研究ではリウマチ性疾患の病態・病型・予後にガラクトース欠損 IgG が果たす役割について、解明することを目的としています。</p> <p>本研究は、大阪大学に血液検体を提供します。送付方法は研究用の番号をつけて、冷凍便で送付します。また、診療情報を加工し大阪公立大学・福島県立医科大学に送付します。</p>
研究を行う期間	機関の長の実施許可日 ～ 2030 年 8 月 31 日
研究協力を お願いしたい方 (対象者)	<ul style="list-style-type: none">・リウマチ性疾患疾患のため受診された方のうち、血液検査の残余部分相当を診療目的に保管されている方。・過去に実施した G164 の研究（研究課題名：TAFRO 症候群、特発性多中心性 Castleman 病、IgG4 関連疾患、POEMS 症候群など多クローン性ガンマグロブリン異常症を来す疾患群の病因病態解明のための前方視的登録ならびに網羅的遺伝子解析；TAClgP study）に参加された方で、血液を保管されている方。
協力をお願いしたい 内容と研究に使わせて いただく試料・情報等の項目	<p>診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。</p> <ul style="list-style-type: none">・患者基本情報：年齢、性別、発症年齢、既往疾患、転倒歴、服薬、喫煙、アルコール、生活習慣歴、家族歴、診断名、病歴・身体所見：身長、体重、血圧、体温、脈拍数、SpO2、視診、打診、触診、聴診を含む所見・血液・尿検査結果：白血球数、白血球分画、TP、Alb、ALP、AST、ALT、BUN、Br、GFR(creatinine, cystatin)、Na、K、Cl、Ca、P、Mg、Glu、T-Cho、TG、HDL、LDL、HbA1c、GA、FT3、FT4、TSH、CRP、ESR、血沈、フェリチン、IgG、IgA、IgM、RF、MMP-3、抗 CCP 抗体、抗 ds-DNA 抗体、抗 Sm 抗体、抗セントロメア抗体、抗 Scl70 抗体、抗 RNA ポリメラーゼ抗体、抗 Jo-1 抗体、抗 ARS 抗体、抗 RNP 抗体、抗 SS-A 抗体、抗 SS-B 抗体、抗カルジオリピン抗体、MPO-ANCA、PR3-ANCA、抗サイログロブリン抗体、抗ペルオキシダーゼ抗体、尿一般、尿沈渣を含む所見・病理検査結果：病理検査結果（HE 染色所見、IgG4 染色所見など一般診療で得られる結果）・画像検査結果：胸部 X 線、CT、MRI、PET/CT、関節エコー検査を含む所見・生理検査結果：呼吸機能検査を含む所見 <p>既存試料（血清）のうち 1mL をガラクトース欠損 IgG を含む糖鎖関連分子の測定に使用させてください。</p>

提供する試料・情報の取得の方法	研究又は診療の過程で取得
試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名(提供元について)	公立大学法人大阪 大阪公立大学 機関の長の氏名：理事長 福島伸一 金沢医科大学医学部 機関の長の氏名：理事長 高島 茂樹 福島県立医科大学医学部 機関の長の氏名：理事長 竹之下 誠一
提供する試料・情報を用いる研究に係る研究責任者	【研究代表者】 公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院医学研究科 膠原病内科学 橋本 求
試料・情報を利用する者の範囲および管理について責任を有する者の研究機関の名称	以下の機関が御提供いただいた情報を本研究に利用いたします。 【研究代表者】 公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院医学研究科 膠原病内科学 橋本 求 【共同研究機関・研究責任者】 金沢医科大学医学部 血液免疫内科学講座 氏名：正木 康史 福島県立医科大学医学部 リウマチ膠原病内科学講座 氏名：下島 恭弘 大阪大学大学院医学研究科保健学専攻 生体病態情報科学講座 分子生化学 氏名：三善 英知
個人情報の取り扱い	この研究にご参加いただいた場合、あなたから提供された診療情報などのこの研究に関するデータや血清は、すぐには個人を特定できない形式に記号化した番号により管理されます。 この研究から得られた結果が、学会や医学雑誌などで公表されることはあります。このような場合にも、あなたのお名前など個人情報に関することは含まない形で公表されます。
本研究の利益相反	本研究の利害関係については、各研究機関で定められた利益相反マネジメントの規定等に従って必要に応じて各研究機関の利益相反マネジメント委員会へ報告を行うことにより、利益相反を管理し研究を遂行します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	診療情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益を受けることはありません。
連絡先	金沢医科大学医学部 血液免疫内科学講座 担当者氏名：正木康史 電話番号：076-286-3511